

聖霊時代のクリスチャン

全世界のクリスチャンが初代教会のように助け主聖霊を通して現れる火のようなみわざを体験して、毎日霊の信仰を持っている。

「盗んではならない」

人の物を取るだけでなく、神の財政を勝手に使うことや十分の一献金をささげないことなど、霊的な意味の盗みもある。

聖霊を下さる父なる神の心

その究極的な理由は父なる神が愛を分かち合える真実の子どもを得るためである。

支教会6月スケジュール

「暮らしの中で主の愛があふれています」

放蕩生活をしていて神の力を体験して変えられた韓国のチェ・ジョンテ長老と、まことの牧者に会って帯状疱疹がいやされた日本の都築紀代子姉妹の証し。

万民ニュース

第151号 2015. 5. 24.

MANMIN NEWS

TEL: 82-2-818-7063

www.manmin.org

無数の魂を救いに導く聖霊のみわざ

「また、炎のような分かれた舌が現れて、ひとりひとりの上にとどまった。」



延べ人数三百万人以上が集まった「2002年イ・ジェロク牧師招へいインド連合大聖会」

堂会長イ・ジェロク牧師は主を受け入れた後、みことばのとおり生きて聖められ、神の力を授かって無数の魂を救いの道に導いている。同牧師を講師に行われた海外連合大聖会では驚くべき聖霊のみわざが現れ、創造主の神とイエス・キリスト、聖書が真実であることが証しされた(1 ハン・ジュギョン賛美宣教師、2 アレクサンドリア聖徒、3 シティバブ執事、4 金田静子聖徒、5 スタグネエフ牧師、6 パク・ジェホン聖徒、7 トウムマサ神学生)

7年間、病気がいやされるために努力してみたが、病気は重くなっていった。末息子をとりわけかわいがってくれた母親さえ「いっそ死ぬのが親孝行だ」と言って号泣した。いやされる希望も見えなかった。

1974年4月、故郷の姉がソウルにいる弟を訪ねて来て、ヒョン・シネ教会のいやし集会に連れて行ってほしいと切に頼んだ。断りきれずに杖をついて姉と一緒に集会に参加したが、汗が背筋をつたって流れた。「なぜ突然こんなに汗が出るのだろうか？」翌朝やっとすべての病気が聖霊の火によってただ一度で完全にいやされたことを知った。

このように生ける神を見つけてイエス・キリストを受け入れた後、聖霊を受けて神の力を授かり、地の果てにまで行って主の証人となっている万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師。

彼は1978年5月、主のしもべとして召され、1982年7月、教会を開拓、1986年5月、牧師按手を受け、現在、世界的なリバイバルリストとして連合大聖会を導き、伴う神の力をもって生ける神を伝え、全世界1万余の支・協力教会とともに本、新聞、放送

を通してすべての国々の民を目ざめさせている。

イ・ジェロク牧師が今から41年前、胃潰瘍、蓄膿症、中耳炎、リンパ腺炎、リュウマチ性関節炎などで病気の問屋と呼ばれていたのに、ただ一度で完全にいやされて生ける神を見つけた理由は何だろうか？

五旬節にマルコの家の屋上の間に臨んだ聖霊のみわざは、罪と悪がはびこっている今日でも、数えきれないほどの魂を救いの道に導くために絶えず現れている。誰でも聖霊の火のバプテスマを受ければ、全身が熱くなって病気の根が焼き尽くされ、闇の勢力も力を失って退く。また、心にある罪の性質が焼き尽くされて上から力が臨むのも見られる。

万民中央教会のハン・ジュギョン賛美宣教師(写真1)は重症肺結核で生死の境をさまよっていた。だが堂会長イ・ジェロク牧師が祈ったとき、病原菌が聖霊の火で一時に焼き尽くされて健康を取り戻した。病院では、治ったとしても両肺の損傷が大きく、再び歌えないだろうと言われたが、彼女は現在、賛美の働き人として誰よ

りも活発な活動をしていて、神に大いに栄光を帰している。

アルコールと麻薬で家庭が破綻の危機にあったインドのシティバブ執事(写真3)は堂会長イ・ジェロク牧師に祈りを受けて神の力が込められたハンカチ(使徒19:11-12)で祈りを受けたとき、聖霊の火が熱く臨んで、二度も気を失うほどだった。その後、心身とも安らかくなって頭痛もなくなったし、驚くべきことに20年間依存していたアルコールと10年以上服用していた麻薬を楽に断ち切ることができた。家族とともにヒンズー教からキリスト教に改宗した彼は、現在オートリキシャ(小型営業タクシー)を運転して教会に仕える誠実な一家の長になった。

日本の金田静子聖徒(写真4)は重症の冷え症で胃や下半身にひどい痛みがあつて、カイロを10枚以上貼らなければいられないほどつらい日々を送っていた。ところが、神の力の込められたハンカチで祈りを受けた瞬間、頭の上が熱くなって汗がにじんできて、その状態が1時間以上続いた。その後、体の芯まで突き刺さるような寒さと痛みがもう感じられなくなっ

た。

イスラエルのアレクサンドリア聖徒(写真2)は堂会長イ・ジェロク牧師の祈りでホジキンリンパ腫がいやされ、ロシアのスタグネエフ牧師(写真5)は神の力の込められたハンカチの祈りで火を受けて腰痛が完全になくなった。タイのトウムマサ神学生(写真7)はダニエル徹夜祈禱会で切に祈っているうちに聖霊の火を受けて乳房のしこりがなくなり、パク・ジェホン聖徒(写真6)は大きい炎の柱のような熱い気運が体の中に入ってきた後、神の力の込められたハンカチの祈りで30年もの膝の軟骨と靭帯破裂がいやされた。

このような聖霊のみわざは熱くだけ臨むのではない。鳩のようにやわらかく臨んで傷ついた心をいやしたり、さわやかな風のように臨んで心が晴れやかになる恵みを下さったりもする。また、万民中央教会ではムアの甘い水(出エジプト15:25)、しるしと不思議、写真の祈りなどを通して驚くべき聖霊のみわざが現れている。誰でもイエス・キリストを受け入れて心を砕いて罪を告白し、聖霊の満たしを切に求めるとき、驚くべき聖霊のみわざが体験できる。

「盗んではならない」



堂会長イ・ジェロク牧師

「盗んではならない。」
(出エジプト20:15)

る行動です。いくらさいな物でも、また親しい関係であっても、持ち主の許しなしに使ったとすれば、神の御目には盗みと言えるのです。

ある人は必要な物があれば、周りの人に簡単に「ちょうだい」とか「貸して」と言います。ところが、借りた後、全部使ってしまったので返せないこともあるし、返したとしてもその物を使ったので、その分相手に損害を与えることになるのです。本当に良心がきよい人は、いくらさいなものでも、他人の物を取ったとき、呵責を感じます。

次に、盗んだり奪ったりしたものでなくとも、他人の物を不当に取った時は、盗みになります。たとえば、自分の地位や権力を利用していろいろを受け取ったり、商売をしている人がとんでもない価格で売って不当な利益を得た時も、善良な人は必ず良心の呵責を感じます。たとえ相手の物をこっそり盗んできたのではないとしても、自分が正当に受けるべきものではないものを得たので、厳密に言えばこれも盗みに当たるのです。

2. 神のものを取る霊的な盗み

神のものを盗んだ時は、救いとも直接かかわりがあります。イエス様の弟子のうちイスカリオテ・ユダは財政を盗むことで結局サタンのしわざを受けて、イエス様を売って悔い改めの霊も受けられず、自殺して惨めな最期を迎えてしまいました。

今日も、教会に通っていると言いながら、神の財政に手をつける場合があります。信仰生活をしていて務めを果たしている、自分がどれほど恐ろしい罪を犯しているのか悟れないのです。ひょっとして人前に現れていないので当座懲らしめを受けてはいないとしても、神がご覧になっておられて、時になれば公義に従って代価を払うのですから、それはかえってさらに恐ろしいことです。もし悔い改めないでいて神のものを盗んだ者になって七年患難に落ちるなら、どれほど胸の痛むことでしょうか。

献金そのものを盗まないとしても、教会の物品や財政をむやみに使うことも、やはり神のものを盗むことです。したがって、教会組織の会費や賛助はもちろん、事務用品を個人の用途に使ってはなりません。教会の財政で購入した物品を浪費すること、また残った財政を返さずに

他の用途に使うことも、神の財政を勝手に使ったことになります。

私的な用事で教会の電話や備品を使うのも同じです。この他にも、子どもたちが献金封筒や週報、教会新聞などをいわずらで折ったり破ることもあってはなりません。これらのことは神との間に隔ての壁になることもあります。

特に十分の一献金と奉納物を盗むことについて、神は厳しく警戒しておられます。十分の一献金は神の物的主権を認めて、収入の十分の一を神にささげることであり、私たちの人生をつかさどられる神を信じて認めますという証拠のようなものです。神を信じながらも十分の一献金をしないなら、神のものを盗んだことなので、呪いが臨みます(マラキ3:8-9)。十分の一献金をささげないから呪われるのではなく、サタンが訴えても神が守ることがおできにならなくなるので、物質の困難にあつて、試練や患難、病気などに見舞われるのです。

十分の一献金とは、月給だけでなく、全体の収入から十分の一をささげることです。副業で得た収入、あるいはお小遣いやプレゼントとしてもらったものも収入なので、その十分の一を計算してささげなければなりません。ところが、ある人は副収入は除いて給与だけで計算したり、給与からもいろいろな控除を差し引いて、手取り額だけで十分の一献金をしたりします。また、十分の一献金という名目でささげないで、そこから宣教費や施し献金などをすることもあります。このような場合は、結局十分の一献金を盗んだことになるのです。

次に、感謝献金に関することです。神の子どもたちには感謝する条件がたくさんあります。救われて天国に行き、尊い務めを受けて報いを積むだけでなく、神がすべてのことにおいて守って祝福してくださいるので感謝です。また、困難や訓練の中でも、すべてを働かせて良い実を結ばせてくださることを信じるので感謝です。したがって、毎週主日には感謝献金をささげ、例祭や特別な感謝の条件がある時は、特別にささげます。

これは人の道理としても当然のことです。他人に世話になったり恵みを受けたなら、心だけでなく行いで報いるのが当然のことです。ですから、神にも毎週守ってくださった恵みと祈りに答えてくださったことに感謝して、もっとささげたい心

になるはずでしょう。

ところが、ある場合は、信仰があるといつても、感謝のささげ物を惜しみながらいやいやながらします。神の御前でそうするのは、すなわち財物への欲と世の欲で心を満たしたということです(マタイ6:24)。初心の者なら理解できますが、長く信仰生活をしながらもそんな心なら、信仰がむしろ退歩しやすいのです。したがって、当然ささげるべき奉納物を盗むなら、結局救いともかかわりがあるということなのです。

もちろん、人によって信仰の量りが違って、神はそれぞれの状態と心を知っておられるので、金額の多い少ないをご覧になるのではありません(マルコ12:41-44)。神は真実な感謝と信仰の香を受けるのを望んでおられます。神に喜ばれれば、大きい祝福と感謝の条件で返していただくようになります。つまり、たましいに幸いを得て、感謝の条件があふれるようにされ、三十倍、六十倍、百倍の祝福として返してくださいるので。

霊的な盗みの中でもう一つは、神のことばを盗むことです。すなわち、神の御名によって偽りの預言をすることです。たとえば、神の御声を聞いたと言って、まるで占い師のように人の将来について語ることがあります。あるいは自分の思いの中で夢や幻を見て「神様が見せてくださった」と言うこともあります。これは神の御名をみだりに唱えることでもあります。

御霊に示されて神のみこころを悟って伝えるのはよいのですが、そのために自分が神のことばを伝える人なのか、チェックしてみる必要があります。聖なる神は心に悪がなくてきよい人を選んで、みこころを伝えることを望んでおられるからです。いつも身を慎む心で口を見守り、ひょっとしてでも自分の思いの中で神のことばを盗むことがあってはならないでしょう。

愛する聖徒の皆さん、この他にも盗みには、賃金をもらっているのにちゃんと働かないこと、怠けて務めや使命をまともに果たさないで、神にささげると約束した時間を好きに使って損害を与えることなどがあります。私心とむさぼりを捨てて、正しい良心をもって真実で忠実な心で相手の利益を求め、真理にあつて完全な神の子どもとなりますよう、主の御名によって祝福して祈ります。



Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: jujinkyung@hotmail.com



Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.gcnetv.org
e-mail: webmaster@gcnetv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com

万民ニュース

Japanese

発行人: イ・ジェロク
編集者: ビン・グンソン
www.manmin.org/Japanese
www.manminnews.com
編集発行: 万民中央教会
〒152-848 韓国ソウル市クロ区デジタル路26キル29
TEL: 82-2-818-7063 FAX: 82-2-818-7048

聖霊を賜物として下さる理由

第一、 父なる神が子どもたちを 愛しておられるからである。

〈ローマ5:8〉に「しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。」とあるとおり、愛なる神はイエス様を十字架に渡して下さって、なだめの供え物になるようにされた。

その結果、誰でもイエス様が救い主であることとよみがえられたことを心で信じる人々は罪の赦しを受けて、神の子どもとされる特権を得るようになった。しかし、心に罪の性質があって、敵である悪魔・サタンが世の享楽と物質と名誉などで誘惑して(第一ペテロ5:8)、心をあおりたてれば、繰り返し罪を犯して再び死に至るしかない。

したがって、愛なる神は、主を受け入れて心を砕いて罪を告白した聖徒の心の中に助け主聖霊を賜物として与えて下さり、御霊によって霊を生み、主の心に似せられた神の真実の子どもになれるように導いておられる。私たちが助け主聖霊を賜物として受ければ、御霊なる神がともにおられて導かれるのと同じことである。

使徒の働きに記されている主の弟子たちも、聖霊を受ける前は迫害と苦しみを恐れる姿だったが、聖霊を受けて神のみこころのとおりに従うと、神の力を受けて大胆に福音を宣べ伝えた。また、敵である悪魔・サタンを退けて、力と権威まで現れ、数えきれないほどの魂を救って神に栄光を帰した。

〈ローマ5:5〉に「なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。」とあるとおり、助け主聖霊が私たちの心に臨むことができたのはただ神の愛から始まったことを、いつも覚えておかなければならないだろう。

第二、 神の子どもたちがみことばのとおり 生きられるように強くして 下さるためである。

聖霊の最も重要な使命は、人の心を変えさせて動かし、悔い改めさせて父なる神を愛するようにする「助ける霊」として働かれることである。

神の子どもたちがみことばどおり生きられずに罪を犯すとき、心に住んでおられる御霊は言いやうもない深いうめきをなされる。御霊が深くうめかれるのを、神の子どもたちは心がみじめになることで感じて、自分の過ちを悔いるようになる。

ところが、神の御前に申し訳ない心で「私はなぜそんなことをしたのだろうか」と自分で自分を責めて悔い改めて立ち返る勇気も持てないまま、霊的に沈滞してしまうことが多い。この時も〈ローマ8:26-27〉に「御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。……御霊ご自身が、言いやうもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてください。」とあるとおり、助け主聖霊は私たちが再び神の恵みをいただけるようにとりなしてください。

このように助け主聖霊はひとりの魂といえども失わないでいのちを与えるために、いつも神の御前でとりなしておられる。むしろ当事者より深いうめきとまどかしい心で神の赦しと憐れみと慈しみを求めておられる。そして、悔い改めの霊を注いで、心を砕いて罪を告白できるようにして、神の愛をいただけるように助けてくださる。

私たちがどんな訓練の中にあっても神の愛を確信するなら、十分そのすべての試練を克服できる。助け主聖霊が心の中におられて、訓練を受けるように許された理由と父なる神の愛を繰り返し悟らせてくださるからだ。ところが、これを無視するならば、聖なる御霊はそれ以上働きかけてくださらないだけでなく、結局消されてしまい、救いとかかわりがなくなる(第一テサロニケ5:19)。

もし御霊が消されてしまえば、また聖霊を受けることは容易ではない。愛なる神が数えきれないほど耐え忍んで機会を与えられたのに、結局御霊が消されてしまったということは、それだけ神の御前に罪の壁をたくさん積んだということだからだ。したがって、聖霊を受けた神の子どもたちは聖霊に助けられて、すみやかに心の真理に逆らうものを脱ぎ捨てて、光の中を歩まなければならない。

第三、 人の力で打ち砕けない肉の思いを 神の力では十分に打ち砕けることを 聖霊の力によって見せてくださるためである。

今日のように間違った知識と思弁があふれている世代で、ただ言葉だけで福音を伝えれば、素直に福音を受け入れる人は少ない。あまりにも硬い肉の思いの枠が人の心を取り囲んでいるため、福音の入る隙間が簡単にできないからだ。

まことの信仰を植えつけるためには、まず人の肉の思いを打ち砕く作業が必要である。人の思いではどうも有り得ないことと人の方法と力では不可能なことを見せて体験してこそ、創造主の神を信じて、聖書が真実であることを悟るようになる。まさにこれを可能にするのが聖霊の力である。

聖霊は神の子どもたちがすみやかに御霊の歩みに入り、全く聖なるものとされるように絶えず悟らせて、心をたたいてくださる。心の中にある悪はどんな悪でも避けられるように発見させて悟らせてくださる。それで、ふさわしい器として備えられた子どもたちを通して、敵である悪魔・サタンを制することのできる霊的な権威と、不可能を可能にする力が兼ね備わった神の力を現される。

聖霊の力によって現れる不思議としるしは、人が目に見えない神をさらにはっきりと信じられるようにする確かな証拠となる(ヨハネ4:48)。罪と悪がはびこって、まことの信仰を持つのが難しい終わりの時には、さらに大きな驚くべき聖霊の力が必要である。どこの誰も否認できない確かな不思議としるしを見せて、終わりの時を生きている人々が神の生きておられることとイエスが救い主であることを信じて、救われるようにしようとなさっているのだ。したがって、助け主聖霊を賜物として下さる究極的な理由を悟り、すみやかに聖められて神が望んでおられる真実の子どもとなり、終わりの時、聖霊の道具として尊く用いられるようにお願いする。

「しかし、助け主、すなわち、
父がわたしの名によって
お遣わしになる聖霊は、
あなたがたに
すべてのことを教え、
また、わたしがあなたがたに
話したすべてのことを
思い起こさせてくださいます。」
(ヨハネの福音書14:26)

父なる神が
イエス・キリストを信じて
救われた子どもたちに
助け主聖霊を賜物として
下さる理由は何だろうか?

6月支教会スケジュール

6月21日(日)	沖縄万民教会	権能いやし聖会(講師:山下好美牧師)	6月28日(日)	名古屋万民教会	癒しの集い(講師:時國みや子牧師)
6月21日(日)	東京田端万民教会	創立15周年記念礼拝(講師:鄭庚泰牧師)	6月28日(日)	東京万民教会	権能いやし聖会(講師:崔ピョンラン牧師)
6月24日(水)	飯田万民教会	権能いやし聖会(講師:柳 承吉牧師)	6月28日(日)	大阪万民教会	リバイバル聖会(講師:キム・マルコ牧師)
6月24日(水)	松本万民教会	リバイバルいやし集会(講師:伊藤時子牧師)	6月28日(日)	東京田端万民教会	特別いやし集会(講師:鄭庚泰牧師)
6月28日(日)	舞鶴万民教会	リバイバル聖会(講師:キム・モニカ牧師)			

1985年、結婚後、忠清北道チェジョンで衣類事業を始めましたが、事業は後回しにしてダンスにはまって生きていました。毎夜9時になればキャバレーに必ず行き、時には他の地域にまで行ってダンスに通ったら、事業は結局失敗してしまいました。

1987年7月、ソウルにきた私は、信仰はなくても教会は安全な所だと思って、家内と幼い息子を万民中央教会に通わせました。家内は信仰生活を熱心にしましたが、私は主日の午前礼拝だけささげて、競馬場やビリヤード場で遊んで、深夜12時を過ぎてやっと家に帰っていました。

自然に夫婦げんかはよくして、憤って家内に電話機を投げつけるかと思えば、ドアの鍵をあけてくれない時には、ガラス窓を壊して家に入ることもありました。そんなある日、家内は15日断食祈禱をささげると、がらんと変わりました。私が議論をふっかけてけちをつけたり、夜遅く家に入ってくるなど、けんかになるようなことをどんなにしても、手向かわなくなったのです。本当に不思議だと思いましたが、私の生き方は相変わらずでした。

1989年9月、私は神経性胃炎で4か月間はりを打ってもらって漢方薬を飲みましたが、よくなりませんでした。腹部中央にピンポン玉より大きい石のように硬いものがつかめて、腹痛のため気絶する時もありました。けれど堂会長イ・ジェロク牧師先生のいやしの祈りを受けて完全にいやされ



て、酒とタバコまで断ち切るようになりました。

その後、本格的な信仰生活が始まりました。好きで聞いていた演歌のテープを捨てて、車の中は説教と賛美テープに変えました。機会さえあれば福音を伝えて、魂の救いに努めました。長男の私がキリスト教を信じた後、酒とタバコをやめて仲の良い家庭を作ると、父は先祖を祭る儀式

の代わりにキリスト教式の追悼礼拝をささげられるようにしてくれました。

1999年8月、京畿道チョンウン・キャンプ場で教会の夏のキャンプが開かれました。二日目、体育大会のために運動場に到着しましたが、空には雲一つなくて風も吹かず、カンカン照りでした。ところが、堂会長先生が到着後、行事と天気のために祈ってくださる

と、突然、東西南北から雲が集まって日差しをさえぎり、涼しい中で体育大会ができたのです。

この体験は私にとって大きい信仰になり、主のわざに励みきかけになりました。2000年に長老になって、実業家宣教会、軍宣教会の会長団、2005年からは8年間、男性地域長連合会会長の使命が与えられました。自分なりによくやっていると思っ

ていました。

ところが2011年6月、金曜徹夜礼拝2部の特別いやしの集会の時に、堂会長先生が「地域長、組長、区域長連合会の会長団の中に、まだ憤りを捨てていない方がいます」と言われました。私は感謝なこと自分のことだと悟って、神様の前に心を砕いて罪を告白することができました。翌日の主日の朝には堂会長先生のところに行き悔い改め、会員の前でも涙で悔い改め、家内にもひざまずいて悔い改めました。

毎晩ダニエル徹夜祈禱会をしながら「私のためにつらい思いをした方がたくさんいただろう」と悟ると同時に、自分が正しいと思う枠があって自分の主張を曲げなかったこと、自分の意見を聞いてくれないおもしろくなかったことなど、一つ一つ悔い改めました。また、祈禱会の後も残って祈り、一食または一日、三日断食をしながら涙で祈ったら、神様は恵みを下さって、いろいろなことで神様の愛を感じられるように祝福してくださいました。

そして2014年4月、美しい御霊に属する心になれました。一家の長が変えられると、家に笑顔の花が咲きました。家族と一緒にやっている洋服店「テーラード・オム」にも祝福があふれています。何者でもない私を、最もすばらしい天国の新しいエルサレムを望みながら、霊肉ともに祝福された生き方へと導かれた父、子、聖霊の三位一体の神様に、すべての感謝と栄光をお帰しします

「まことの牧者に出会って信仰生活が幸せです」



都筑紀代子勳士
(74歳、東京田端万民教会)

私は教会に通いながら、聖霊に満たされた信仰生活をする方法と難解聖節の解釈について知りたかったのですが、その答えが見つかりませんでした。それで、聖書を正確に解き明かしてくれて、使徒パウロのような心で神様の働きをしている、まことの牧者に出会うために切に祈っていました。

そのうち万民中央教会と堂会長イ・ジェロク牧師先生を知るようになって、2003年3月から東京田端万民教会に通い始めました。完全に主日を守って十分の一献金をことごとくささげることについて、天国と地獄について詳しく知るよ

うになって、まことの牧者に出会ったということに非常に感謝しました。また神の力も体験して、信仰が成長し始めました。

2006年5月、右眼の周り、鼻、口の周り、耳の中に赤い発疹ができて、風がちよっと吹いても歯ざりりするほど痛みを感じました。息をするのもつらく、他のことを考えることもできませんでした。帯状疱疹でした。

私はひたすら神様により頼んで、霊とまことによって礼拝をささげられなかったことを悔い改めた後、GCN放送で堂会長先生のいやしの祈りを受け、ムアン

の甘い水をつけて切に祈りました。それから担任のチョン・ギョンテ牧師先生にハンカチの祈り(使徒19:11-12)を受けましたが、五日ほどで完全にいやされました。ハレルヤ!

また、介護福祉士の国家試験を受けましたが、その時も堂会長先生の祈りで合格できました。教会でいろいろな使命をいただいて、ほとんどの時間を神様にささげられて、とても幸せです。このようにまことの牧者に出会って、聖書を正しく知って正しい信仰生活ができるように祝福された神様に、すべての感謝と栄光をお帰しします。

主日大礼拝、主日夕方礼拝、金曜徹夜礼拝はソウルの万民中央教会の礼拝をNSS-6衛星で同時にささげています。

- イエス・キリスト飯田万民教会
〒395-0807 長野県飯田市鼎切石 3883-4
T) 0265-56-8286
<http://iidamanmin.to.cx/>
- 名古屋万民教会
〒465-0014 名古屋市中東区上菅 1-916
T) 052-774-8874
- イエス・キリスト山形万民教会
〒999-3716 山形県東根市蟹沢 1486-4
T) 0237-43-0771

- イエス・キリスト別府万民教会
〒874-0924 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
T) 0977-23-8980
- イエス・キリスト大阪万民教会
〒591-8023 大阪府堺市中百舌鳥町 5-775-15
T) 072-220-5289
<http://www.osmanmin.com/>
- イエス・キリスト旭川万民教会
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
T) 0166-53-0652

- イエス・キリスト東京田端万民教会
〒114-1102 東京都北区田端新町3丁目36-1 栄ビル2F
T) 03-3809-3326
<http://tabata.manmin.or.kr/>
- イエス・キリスト松本万民教会
〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
T) 0263-57-0003
- イエス・キリスト舞鶴万民教会
〒624-0913 京都府舞鶴市上安久 138
T) 0773-75-5656
<http://www.manmin.jp/>

- 岡山万民教会
〒716-1321 岡山県高梁市有漢町有漢3206
T) 0866-57-9691
- イエス・キリスト東京万民教会
(東京万民宣教センター)
〒167-0051 東京都杉並区荻窪 2-29-13
T) 03-6915-1740
- イエス・キリスト沖縄万民教会
〒901-2212 沖縄県宜野湾市長田1-28-10 サンライフ米須301号
T) 098-988-9472